



天災は忘れた頃に…

2月5日(月)～6日(火)にかけて、久々にまとまった降雪がありましたね。最深積雪は甲府地方气象台で12cm、河口湖特別地域気象観測所で26cm(令和6年2月8日発表の甲府地方气象台の資料より)とのことでした。結局6日(火)は、特別時間編成でオンライン授業が行われ、自宅周辺の雪かきに勤しんだ生徒もいたかと思われます。「雪」と言えば山梨県民は皆思い出す10年前の2月、あの通称「バレンタイン豪雪」(ちなみに発生年月日は覚えやすいです。2014年2月14日なので。)、皆さんは6～7歳頃だったかと思います。日頃の豊かさと便利さに慣れてきていた私たちに、あの大雪は教訓を与えてくれたように思います。いつでも何でも手に入る日常、充実した道路網や交通機関。一変してそれらが失われ、混乱と化した首都圏、陸の孤島となった山梨県…。当時の高校3年生の中には、受験を断念した生徒さえいました。どんなに文明が発展しても、人間の都合で自然を動かすことはできません。大雪や地震などの自然災害時に、どう行動すればよいかを考え、恵まれている今の生活を見つめ直すことは、意義あることではないでしょうか。

話題は変わりますが、3月は高校入試(後期募集検査)や年度末行事のため授業日が少なく、下記の予定表にあるとおり、土日祝日以外に家庭学習日もあります。4月までは学校を離れ、各自の自主性と実行に委ねるところが大きい期間です。2年間の総まとめをして、受験生として本気モードに入りましょう。自覚を持って動き出してください。部活動においては、この春休みが最後の長期休業となります。最上級生として4月に新入生を迎える前に、良い準備をしてほしいと思います。まず、現2年次生がリーダーシップを発揮しながら、現1年次生を育て上げ、良い伝統を繋いでほしいと思います。質の高い文武両道を期待しています。

◎新3年次生 教科書の販売・・・3月17日(日) 柳正堂書店 甲府昭和イトーヨーカドーにて

まもなく3年次生という実感!2年次で使用した教科書を、3年次で継続使用する教科もあるので注意しましょう。

◎教室内の私物を片付けて、ロッカーキーの返却準備も

高校入試があります。年度末でもあるので、①教室内およびロッカー内の私物を計画的に持ち帰りましょう。
②ロッカーキー返却の準備をしておきましょう。

◎3月の授業・・・3/4, 11, 12, 15, 18, 19, 21 春季特別課外・・・3/20, 23, 24(甲斐ゼミナール北口本部教室)

球技大会など行事の日を除くと、授業は7日間しかありません。3年次への助走と考えて、毎回の授業を大切に真剣に取り組んでください。また、課外も有効に活用し、授業のない日も計画的に学習を進めてみましょう。

【3月行事予定】

A:A週 B:B週 行:学校行事 を表します

日	曜	A/B	予 定
1	金	行	第76回卒業証書授与式
2	土		
3	日		
4	月	A	後期募集検査会場準備
5	火		後期募集検査(生徒は家庭学習日)
6	水		後期募集検査採点(生徒は家庭学習日)
7	木		後期募集検査採点(生徒は家庭学習日)
8	金	行	答案返却
9	土		マレーシア語学留学(~3/23)、nセミナー-県外研修
10	日		
11	月	B	きずなの日、個人写真撮影(新2,3年)
12	火	B	進路ガイダンス(2年)5校時
13	水	行	球技大会
14	木	行	新体力テスト(1,2年)
15	金	B	

日	曜	A/B	予 定
16	土		
17	日		教科書購入日(新3年)
18	月	A	加湿器回収(2年)
19	火	A	
20	水		春分の日、春季特別課外(1,2年)〔3/23,24〕
21	木	A	入学許可予定者オリエンテーション準備
22	金		入学許可予定者オリエンテーション(生徒は家庭学習日)
23	土		春季特別課外(1,2年)
24	日		春季特別課外(1,2年)
25	月	行	後期終業式、退任・離任式、大掃除、報告会
26	火		学年末休業(4/7(日)まで)【4/8(月)前期始業式】
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

保護者のみなさまへ

高校生活の3分の2が終わり、4月からは新クラスでの最後の1年がスタートします。3月は先述のとおり、家庭学習日や授業のない日が多くあり、春休みにかけてのこの一か月間の過ごし方が、3年次のスタートそしてその後の生活に大きな影響を与えます。これまでの生活がどうであったか、今後どのような目標に向かって取り組んでいくかなど、話題はどんなことでも結構です。ご家庭で話し合う機会を持っていただければと思います。規則正しく、健康で、計画的な生活が送れますよう、保護者の皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

◎2年次職員からの寄稿を紹介します。5組担任 渡邊 裕大 先生からです。

『謙虚な姿勢と感謝の気持ちを忘れなければ、人生何とでもなると思っている今日この頃』

いよいよ4月から受験生です。「全国大会の大学受験」は「県大会の高校受験」と違い、合格を勝ち取るまでに相当な努力と忍耐が必要になります。これまでに経験したことが無いような、精神的負荷がかかるでしょう。きっと周りもそのことは理解してくれます。ですが、絶対に周りへの謙虚な姿勢と感謝の気持ちだけは忘れないでください。

「受験生だから」この一言できっと周りはあなたに配慮してくれたり、支援してくれたりするはずですが、その配慮に、あなたは気づき、謙虚な姿勢でいられますか？その支援に、あなたは気づき、感謝の気持ちを持つことはできますか？(保護者、友人、先生、親戚…などなど)

これが意外と見えなくなってしまう！受験は視野を狭めがち！

ずっと「受験生」でいられるわけではありません。受験生への配慮や支援に、謙虚な姿勢と感謝の気持ちを表せない人は、周りから応援されなくなり、受験生でなくなった瞬間に相手にされなくなります。受験生でいるうちに、そのことに気づいてほしいです。少なくとも私は「受験生だから」という雰囲気を出して偉そうにしている生徒を見るとプンプンになります。関わりたくないです。皆さんにはそのような受験生にはなってほしくありませんし、であれば受験生にならなくてもいいとさえ思っています。

ぜひ生徒でいるうちに、人としての合格も勝ちとってください。勉強した内容が将来の職業に活かされるかどうかは不明ですが、勉強への取り組み方法や姿勢、向き合う気持ちは必ず仕事に活かされます。周りから応援されるような受験生でいてください。謙虚な姿勢と感謝の気持ちを忘れなければ、人生何とでもなります。勉強より大切です。ということで締めます。

受験生は王様ではありません。受験生です。

周りからの、心からのバックアップを受けて、受験に向かっていきましょう！応援しています！



◎続いて5組副担任 平井 茂樹 先生からです。

私の好きな物理学者に、リチャード・P・ファインマンがいる。学生の時にゼミの先生からも、この物理学者の言葉を贈ってもらった。1965年、量子電磁力学の発展に大きく貢献して、ジュリアン・S・シュウィンガーや朝永振一郎とともにノーベル物理学賞を共同受賞した人物である。彼は物理学全般を独自の発想と色々な視点から解釈し、多くの業績を上げただけでなく、教育にも熱心に取り組んできた。

驚くのは、彼の業績の根底にあるのは、自己の研究分野だけにとどまらないということである。例を挙げると、一般に科学者は科学史を知らない。知っていたとしても、お決まりの科学史のレベルにとどまることが多いが、ファインマンの学生への講義では、随所において精確な物理学史が披露されている。

ファインマンは、目の前の研究だけに目を奪われなくて、過去の偉大な科学者たちが実際に何を考えていたのかを知り、そこから何かを得て、学生にもそれらを伝えるくらいの余裕を持っていたようである。やみくもに誰かの真似をするとか、仕方なく必要だからやるとかではなく、確固たる動機に基づいて研究と教育も行っていた。

2年次の皆さんも、受験勉強が本格化してくる時期となりますが、受験という狭い枠に限定することなく、残り的高校生活で多くのことを幅広く吸収し、自己の将来に生かしてください。

*参考書籍 ブルーバックス 『「ファインマン物理学」を説く』